



令和2年度 学校だより<学校評価アンケート結果特別号> 令和3年2月16日

北醍醐特別号



京都市立北醍醐小学校
校長 城野 健司
TEL: 075-572-5353

《学校教育目標》 未来に向かって 元気で たくましく 挑戦する子

《目指す子ども像》

- 自分の思いをもち、言葉で表現する子
- 自分の考えをつくり、行動する子
- 物事を正しく判断し、安全に気づく子
- 失敗を恐れず、チャレンジする子

令和2年度第2回「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。活動が制限され、我慢の中で自分の行動を見つめ直した1年間でしたが、子どもたちが自分の未来を思い描き、いっそう成長していけるよう改善を図り、教育活動に活かしていきます。保護者・地域の皆様には、これからもご理解、ご協力をよろしくお願いたします。

*表の数値は、回答の「よくできている」「大体できている」を合わせ「実現度」として示しています。

児童	実現度		保護者	実現度		教職員	実現度	
	1回目	2回目		1回目	2回目		1回目	2回目
学校に行くのは楽しい。	87.7%	90.1%	お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	95.1%	96.2%	「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	93.3%	100.0%
友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	90.3%	92.1%	お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	97.9%	97.7%	互いを大切にする子どもの育成のため、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」を指導し、児童の身についてきている。	93.3%	90.9%
自分からあいさつしている。	85.2%	86.8%	お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	77.1%	75.8%	進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	93.3%	85.7%
困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	76.1%	73.0%	学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	87.5%	89.4%	子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	85.7%	88.9%
授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	83.2%	79.5%	お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	79.9%	83.3%	ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.9%	80.0%
学校や家で、自分から読書している。	76.8%	75.5%	お子さんは、読書に親しんでいる。	56.3%	60.2%	読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	91.7%	85.7%
家で学年に合った家庭学習をしている。(1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分)	67.7%	73.0%	お子さんは、「15分×学年(5・6年生は60分～90分)」の家庭学習(宿題)の習慣が身についている。	74.3%	70.1%	授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習改善に取り組んでいる。	80.0%	81.8%
学校のきまりや交通のルールを守っている。	92.3%	94.0%	お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	93.8%	92.4%	きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	88.9%	86.4%
毎日、決まった時間に早ね早おきをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	80.6%	82.9%	お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	93.1%	92.5%	基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	94.4%	90.0%
学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	88.4%	94.7%	学校は、安全面における適切な配慮をしている。	93.8%	93.2%	ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	81.3%	72.2%
下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことに楽しみを感じる。	84.5%	80.9%	お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	89.6%	88.6%	児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	93.3%	95.0%

<今後も伸ばしていきたいこと>

- * 安心して楽しく学校に通っている。
- * 友だちに優しくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。
- * 学校は安全面における適切な配慮をし、子どもたちは安全に気を付けて安心して活動している。
- * 学校の決まりや交通のルールを意識し守っている。



<さらに取り組むべき課題>

- * 読書に親しんでいる。
- * 「15分×学年」の家庭学習(5・6年生は60分～90分)の家庭学習の習慣が身についている。
- * 下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことに楽しみを感じる。

① 子どもは、安心して楽しく学校に通っている。

児童・保護者・教職員の三者とも、7月に実施した第1回目の学校評価アンケートの結果よりも実現度が上がり、多くの子どもたちが楽しく学校生活を送っている様子が見えられます。令和2年度は、4月から約2か月間の臨時休校を経験し、6月に学校が再開された後も、新型コロナウイルス感染拡大防止のための新しい生活様式に、子どもたちも戸惑い、慣れないうちは不便さを感じながらの学校生活だったと思います。

感染を防ぐために、たくさんの学校行事が縮小されたり中止になったりしました。通常の授業におい

ても、マスクを外さなければできない楽器の演奏や、近距離で交わるスポーツ活動、机を囲んでグループで行う理科の実験、様々な意見を出し合って練り上げる少人数での話し合い活動など、感染のリスクが高い活動については、子どもたちの健康・命を守るために今も制限が続いています。初めは困惑していた子どもたちも、今、我慢をし、周りの人たちと協力しながら自分にできることを粛々と行うことが、1日も早い事態の収束につながることを理解して、前向きに過ごしています。従来のやり方にこだわらず、できることを工夫して新しい方法を見つける力も身につけています。置かれた状況の中で、いかに楽しむかを考える子どもたちの姿に今年度の成長を感じています。

② 子どもは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。

三者ともに実現度が9割を超え、友だちとの関わりを大切に学校生活を送っている様子が見えられます。友達と会えない、自由に遊べない期間を経験し、よりいっそう友達のありがたさや友達とつながることができることの幸せを感じているように思います。友だちとの関わりについて、子どもたちの困りに敏感になり、すべての児童が気持ちよく過ごせるよう今後も配慮していきたいと思えます。

③ 子どもは、家や地域で進んであいさつしている。

あいさつについては、児童・教職員は実現度が前期より少し上がったのに対し、保護者の回答は前期を下回る結果となりました。距離をとったり、会話を控えたりして、相手とコミュニケーションをはかりづらい現在の状況の中で、あいさつは短い言葉だけで、相手も自分も明るい気持ちにしてくれるすてきな行動です。朝の登校を見守っていただいているPTAの地域委員の方や地域の見守り隊の方をはじめ

め、自分の周囲で自分たちのために動いてくださっている方々にも、感謝の気持ちをもってあいさつができる人になってほしいと願います。学校でも引き続きあいさつすることの喜びを伝えていきますので、ご家庭でもお声掛けいただき、楽しくあいさつを交わすご家族の姿を見せてあげてください。

④ 学校は、気軽に相談でき、適切に応じている。

本項目では、児童の実現度は少し下がり、保護者の実現度は少し上がりました。児童が助けを必要としたときには、いつでも寄り添い、一緒に解決策を探ることができる学校でありたいと思います。また、家庭と学校が子どもたちについて共通理解をはかり、子どもたちのさらなる成長のため、同じ視点で支援できるよう、よりいっそうの協力体制を築いていきたいと思っています。

⑤ 子どもからは積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。

⑦ 子どもは、「15分×学年（5・6年生は60～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣がついている。

項目⑤は三者ともおよそ80%、項目⑦は児童・保護者がおよそ70%、教職員がおよそ80%という結果でした。1時間の授業の中で子どもたちが「めあて（今日は何を学ぶ）」と「振り返り（今日の学習を通して何ができた、またはできなかった）」を意識することは、学習意欲の面からも学習成果の面からもとても重要です。本年度は、保護者の方に授業を見ていただく機会が9月の体育参観と10月の分散参観のみとなってしまいました。毎日の家庭学習を通して子どもたちが自分自身で「今日授業で学んだことが理解できている。」「毎日頑張っているからスラスラ読めるようになった（九九が速く唱えられた）（漢字が覚えられた）。」など実感できるようご家庭でも励ましのお声かけをいただければありがたいと思います。

⑥ 子どもは、読書に親しんでいる。

児童の実現度は前期より少し下がり75%、保護者から見た実現度は前期より上がりつつも60%という低い結果となりました。学校では、各学年おおよそ週に1回程度（低学年はより多く）図書教育として図書室に足を運んで本に触れる時間を設け、他教科の授業中にも課題が終わった人から読書を楽しむこともあります。図書委員会が企画して、児童全員がお気に入りの1冊の本を紹介する「読書の本」の取り組みを行ったり、図書館司書の先生の読み聞かせを放送で流したりして、子どもたちの読書環境を整えています。

⑧ 子どもは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。

⑩ 学校は安全面における適切な配慮をしている。

どちらの項目も児童、保護者ともに実現度の割合は高い値を示しましたが、教職員は、ルール遵守や危険予測の指導、社会的規範意識の高揚について十分とは言えないと感じている結果となりました。今年度は、警察署交通安全課の方をお呼びして毎年行っている1年生の交通安全教室や4年生の自転車教室が実施できず、教室の中での安全学習となりました。机上の学習であっても、もしもの時に「命を守る」ための行動を自分で判断できるよう安全学習を行っていくとともに、教職員の安全研修も積重ね、安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと思っています。

⑨ 子どもは、十分な睡眠をとり、早起き・洗顔・歯みがき・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身につけている。

本項目については、三者ともおおむね良好な結果が得られました。別途、保健室から配布しています「生活リズム調べ」の結果にて詳しくお伝えしています。

⑪ お父さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。

高い値ではありますが、昨年度に比べると三者ともに実現度は下がっています。今年度は、他学年との交流活動が制限され、学習成果報告会なども映像を通しての視聴となり、直接上級生の望ましい姿を目にしたり、行事の中で下級生を案内したり一緒に取り組んだりする機会がなかったことも一因として考えられます。普段の生活の中でも、高学年には下級生のお手本となる自覚を、下級生には登校班や委員会などでお世話になっていることへの感謝の気持ちを育てていきたいと思っています。

～学校生活全体に関わる貴重なご意見について～

<コロナ禍ではあるが、もっと工夫して学校生活を送れるようにしてほしい。>

感染症拡大防止対策を講じての教育活動を強いられ、子どもたちは、多くの我慢をしているのが現状です。何とか工夫をする中で、よりよい活動が出来ないかと考えてはいますが、感染が収まらない状況から制限がかかり、思うように取り組めていません。大変申し訳なく思います。今後も思考を止めず、状況を考慮しながら可能なものについては、実施の範囲を判断してまいります。

<担任と話せる時間をもっと確保してほしい。>

今年度は学級懇談を実施できず、担任との意思疎通が十分でないのは確かなことです。家庭訪問や個人懇談だけでは、不十分さを感じている方もおられると思います。今後ますます、感染状況が好転するとは考えにくいので、そのような場合は、気軽に担任までご相談ください。時間をとるようにいたします。

<子どもたちの言動について>

子どもたちの言動で気になる点をお知らせいただきました。有難うございます。児童数が少ない本校なので、異学年の関わりは、特に大切に考えているところです。励まし合い、助け合える仲間づくりに力を傾注してまいります。特に今年度は、縦割り活動が皆無であったことも一因ではないかと考えます。また、友だちへの言葉かけに関しても、周りの大人が十分にアンテナを張り、人権教育の視点から子どもたちに語りかけ、相手の立場を考え、友だちや人を思いやる心を育てていきます。

<オンラインを活用した取組について>

5年後に完全実施を目指していたGIGAスクール構想が前倒しとなり、来年度から徐々にその取組が始まってまいります。学年により開始時期や活用内容は異なりますが、児童一人一台の端末を利用した学習活動やクラウドサービスを利用したやり取りなども順次進めてまいります。

<運動場の開放に関して>

校庭開放を望まれる声がありました。現在、校庭は放課後の時間帯（平日の午後4時30まで）を自由遊びの場としております。学校に残って遊ぶ場合は、そのことを保護者の方がお知りおきの上、遊び場所として活用してください。

<給食時の感染症対策に関して>

給食時の感染拡大をご心配いただきました。

現在、子どもたちは、『いただきます。』の挨拶をしてからマスクを外し、給食をとっています。それまでの間は、マスクを着用して手を石鹸で十分に洗い、座席で給食の配膳を待ちます。給食の盛り付けは、手洗い・消毒をした教職員が行い、お盆に乗せた食器を児童が運び、そのお盆からは食事をする本人が食器をとるようにしています。また、マスクを外してからは、全員が前を向き、間隔を空け、しゃべらず（無言）に給食をいただいています。一方、子どもたちが使用する蛇口のハンドルも従来のものから柄の長いものに取り換えて感染リスクを低減させています。寒い中ですが、石鹸を使いながら上手に手洗いを頑張っている子どもたちの姿が見られます。

<PTA活動に関して>

PTA活動の保護者負担軽減に関するご意見をいただきました。本年度については、本部役員の方のみで、出来る範囲での活動をしてくださっています。また、来年度については、京都市全体のPTA活動の見直しが行われると聞いています。それに伴い、伏見東支部PTA活動も見直すべきところがあると考えます。ついては、本校のPTA活動に関しても、保護者の方々の負担が少し軽減されるよう本部役員の方々を中心に検討していこうと思っています。

<宿題に関して>

長期休業中の宿題に関する保護者様の関わりについてご質問をいただきました。子どもたちが長期休業中に宿題に取り組み、例えば漢字や計算の練習をした場合、丸つけをして、間違っ箇所をすぐに正しく直すことが重要です。そして、保護者の方が、今、どのような学習に我が子が取り組み、どれぐらいの力をつけているのかを確認していただける機会にもなります。そのような意味から長期休業中の丸つけをお願いしているところです。大変お忙しい中ではありますが、ご協力をお願いいたします。

上記のほか、個別のご相談や学年に関わるご意見などもいただきました。それらに関しては、別途お知らせや取組を講じてまいります。

それ以外にも、お褒めのお言葉やご支援のお心遣いなどもお寄せくださり、ありがとうございました。いただきました全ての内容を今後の学校運営の参考にさせていただきます。お忙しい中、筆をお取りくださったことに感謝申し上げます。ご記入・お届けいただきました励ましやお褒めの言葉を糧とし、さらに取組を進めてまいります。アンケートにご協力くださり、有難うございました。